

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	企画部政策企画課		■担当係	政策推進係
■評価事業名称	支線交通運行事業			
■評価事業コード	010100 - 143	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	04 みんなで支える公共交通体系の構築		
	■施策	01 地域の実情に応じた公共交通体系の構築		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	公共交通が不便な地域に乗合タクシーを導入し、地域住民の生活の足を確保することを目的とする。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	和賀地区乗合タクシー運行事業	和賀地区住民		運行ルート 4路線 運行日 週4日(仙人線は2日) 利用者数 998人(予定) 地域との協議 和賀5回、岩崎4回、藤根3回
02	稲瀬地区乗合タクシー運行事業	稲瀬地区住民	試験運行の動向を見ながら、25年度からの本運行に向けた計画を策定する。	平成24年4月1日試験運行開始 ルート 2路線 運行日 火、金 利用者数318人 運行回数204回 地域との協議 5回
03	相去地区乗合タクシー運行事業	相去地区住民	試験運行の動向を見ながら、10月からの本運行に向けた運行計画の策定。	平成23年10月～平成24年9月 試験運行 ルート 2路線(4便/日) 運行日 日、祝日、年末年始以外 平成24年10月1日 本運行開始 利用者数1,167人 運行回数809回 地域との協議 4回

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	88	1		4	
人件費	412	409	81	708	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	500	410	81	712	

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	地域との意見交換の実施	0	2		12	ヒアリング調査等により利用者のニーズを直接把握した。
03	利用者数(人)	1,052	908	979	2,459	年間の延べ利用者数(24年度からは全地区の総計)

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

24年度は新たに2地域で乗り合いタクシー事業を開始した。利便性を実感すれば、さらに利用者は増加できると考える。

### 問題点・課題等

・地域のニーズに運行事業者が合意できず、路線変更を導入できなかった事例がある。[利用者の固定化

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

### 補足説明